



# 高感度磁化測定

新規材料や粉末、薄膜など少量試料の磁気特性評価をお引き受けいたします。

## 特徴

### ● 微量試料でも高感度に磁気測定が可能

強磁性体 (Fe, Ni, Co) に比べ、非磁性体とも呼ばれる常磁性体 (Al, Pt)、反強磁性体 (MnO, FeS)、反磁性体 (Cu, Ag) などは室温において比較的弱い磁性を示します。例えばAlの室温における磁化率は  $0.6 \times 10^{-6} \text{cm}^3/\text{g}$  と、とても小さいものになります。また強磁性体であっても、試料が粉末状や薄膜、欠片など少量しか採取できない場合、試料全体からの信号はとても小さくなります。

当社では、高感度な磁化測定装置を使用することによって、弱い磁性を示す材料の評価を可能としました。電子機器分野におけるセラミックス、樹脂・複合材、金属間化合物など新規材料開発にご活用ください。

## 評価内容

対象	セラミックス、金属間化合物、樹脂・複合材
試料状態	粉末、欠片、薄膜など
印加磁場範囲	30 kOe (強磁場の場合は別途ご相談ください。)
温度範囲	5 K～室温 (高温の場合は別途ご相談ください。)
測定項目	磁気モーメント、磁気ヒステリシス曲線、磁化率の温度依存性など

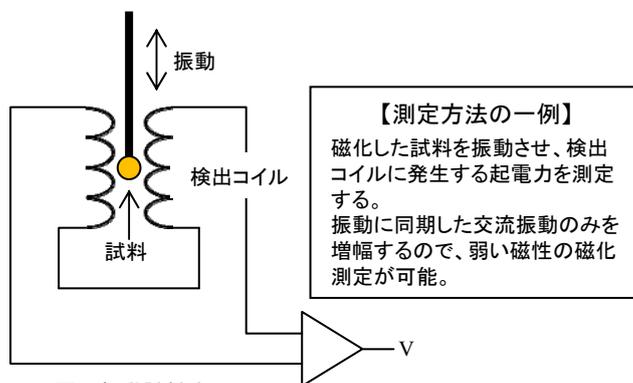
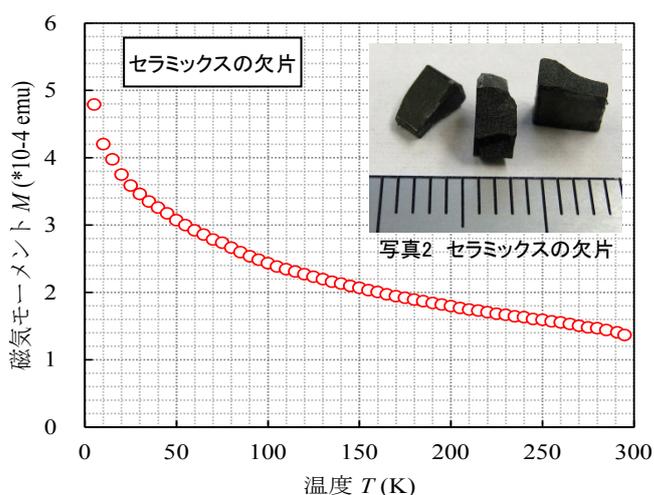
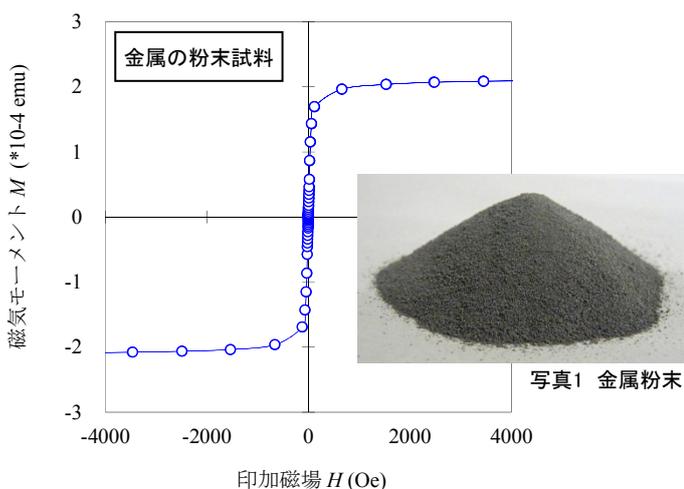


図1 振動試料法

## 測定事例



JFE テクノリサーチ 株式会社

<http://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2014 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved. 本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。